

●朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)

2020年夏以降、北朝鮮においてこれまでは報道されていなかった朝鮮労働党や北朝鮮政府関係の会議や外国指導者とのやりとりなどが盛んに報道されるようになった。日本国内では、これらの会議についての詳細な報道が少なく、あったとしても政治面での報道に偏っており、経済に関連する部分や、機微に触れる部分が報道されないことが多い。そこで、ERINA REPORT PLUSの動向分析では、日本でこれらの報道が簡単に見られるようになるまでの当分の間、これまでと比べて大幅に長くはなるが、これらの報道動向をできる限り正確に伝えることとした。

万景台区域総合食堂万景台冷麺店が好評

2020年7月31日付『朝鮮新報』によれば、平壤市万景台区域の光復通りにある万景台区域総合食堂万景台冷麺店が、冷麺で有名な玉流館に引けを取らない味だとして繁盛していると伝えている。元は80席程度の食堂であったが、お客が増え、280席以上に収容能力を拡張したとのことである。

C1化学工業の工場、設備の建設が行われる

2020年8月1日付『労働新聞』は、一酸化炭素、二酸化炭素、メタン、メタノールなど炭素数1の化合物の製法、またはこれらを原料とした有機化合物の合成法を研究する化学であるC1化学工業の工場、設備の建設が、化学建設連合企業所を中心として行われていることを報じている。

労働新聞「経済建設において堅持しなければならない重要な原則」論説発表

2020年8月2日付『労働新聞』は、キム・ソンナムによる論説「経済建設において堅持しなければならない重要な原則」を掲載した。ここでは経済全般を整備するうえで、自らの原料と資材だけでなく、独自の技術と力量に依拠した自力更生を堅持することを、江原道が自力更生の旗手の道である例を引用しつつ、強調している。

労働新聞社説「偉大な祖国守護者たちの精神で生活し、闘争しよう」発表

2020年8月3日付『労働新聞』は、社説「偉大な祖国守護者たちの精神で生活し、闘争しよう」を掲載した。ここでは朝鮮戦争後、現在までの建設成果を紹介したうえで、幹部については、「われわれの活動家は事業の結果を評価する評論家ではなく、進取的な設計家、有能な作戦か、頑強な実践家にならなければならない。自身がまず先陣を切って進み、事業をより大胆に、より積極的に、より創造的に展開していかなければならない」としている。

朝鮮労働党中央委員会第7期第4回政治局会議開催

2020年8月6日発、『朝鮮中央通信』によれば、同月5日、平壤市の朝鮮労働党中央委員会本部庁舎で行われた。金正恩朝鮮労働党委員長が同会議の司会をし、党中央委員会に新たな部署を置くことに対する機構問題と党内の幹部事業体系を画期的に改善するための方法論的問題について討議がなされた。また、政府機関の主要職制幹部の事業状況に対する評価と対策について合意された。次に、国家最大非常態勢の要求に合わせて完全に封鎖されている開城市の貿易状況と実態報告書を了解し、封鎖地域の人民たちの生活安定のための食糧と生活保証金を党中央が特別に支援することに対する問題を討議し、決定した。

非常防疫措置をより強力に展開

2020年8月6日付『朝鮮新報』によれば、同年7月25日に開かれた朝鮮労働党中央委員会政治局非常拡大会議の決定に従い、非常防疫事業がより強力に展開されているそうである。特に、国境線や軍事分界線、海岸沿線地域でウイルスが流入する穴を封じる遮断封鎖、輸出入品検査検疫部門における船舶の全面消毒や貨物の放置前消毒や放置後消毒といった検査、検疫などの管理措置が相次いで講じられているとのことである。

金正恩国務委員長が黄海北道銀波郡大青里一帯の水害状況を視察

2020年8月7日 発『朝鮮中央通信』によ

れば、金正恩国務委員長が黄海北道銀波郡大青里一帯の水害状況を視察した。金正恩委員長は、党中央委員会の当該部署と人民武力省の幹部で被害復旧事業指揮部を組織し、指揮部はいったん現地で被害状況を具体的に調査、掌握しながら被害復旧に必要な資材と力量の編成を正確に見積もって報告することに関する指示を与えた。また、今回も被害復旧建設に軍隊を動員することを決心したと述べ、人民軍は必要な力量を編成して緊急移動展開させ、郡内の人民と共に破壊された住宅と道路、地帯整備作業を先行させることについて指示した。

朝鮮労働党朝鮮労働党中央委員会第7期第16回政治局会議開催

2020年8月14日発『朝鮮中央通信』によれば、同月13日、朝鮮労働党中央委員会第7期第16回政治局会議が平壤市の朝鮮労働党中央委員会本部庁舎で行われた。金正恩朝鮮労働党委員長、朝鮮労働党中央委員会政治局常務委員会委員と党中央委員会政治局委員、委員候補が参加した。また、党中央委員会の部長、第1副部長、副部長と内閣副総理、各相、各道党委員長、省、中央機関の党委員長、武力機関の指揮メンバー、中央非常防疫指揮部のメンバーが、オブザーバーとして出席した。党中央委員会政治局の委任によって、朝鮮労働党の金正恩委員長が会議を司会した。

政治局会議では、全力を集中して水害を早く克服し、人民に安定した生活を保障することに関する問題と世界的な保健危機状況の要求に即して国家非常防疫システムをいっそう厳格に維持し、整然とした防疫活動指揮システムを完備することに関する問題、開城市など前線地域の封鎖を解除することに関する問題、党中央委員会に新設部署を設けることに関する問題を討議、決定し、党創立75周年を盛大に記念するための国家行事準備状況を点検して対策を研究、協議した。

金正恩委員長は、被害状況を集計した資料を通報しながら、家と家産を失って臨時居住地で生活している水害罹災民の状態と苦痛が形容しがたいであろうと述べ、現在のよな時に他の誰でもなく朝鮮

労働党が彼らに対して全的に責任を持たなければならないし、人民がなめる苦労を共にし、それをいやすために彼らのそばにもっと近寄りなければならない、水害罹災民が屋外生活をしている状態で党創立75周年を迎えるようにすることはできないなどと述べ、水害を一日も早く克服して人民の生活を安定させるための部門別課題と方途的問題について具体的に提示した。

金正恩委員長は、党の指導に忠実な軍民の大団結と協同作戦によって10月10日まで水害復旧を基本的に終えて住民を安定させるための当面の闘争課題を反映して、党中央委員会政治局の決定書と党中央委員会、党中央軍事委員会、国務委員会の共同命令書を示達することを提議し、党中央委員会政治局は、金正恩委員長の提議に全会一致で賛同を表した。政治局会議では次に、非常防疫戦が長期化することに合わせて国家的な整然とした防疫活動システムを立てるための機構的問題で合意し、新たに創設された機構が自分に付与された権能を正しく行使して責任感と役割を強めることに関する問題が指摘された。

政治局会議ではまた、最前線地域で発生した非常事件によって同年7月24日から実施されていた開城市をはじめとする前線地域の封鎖を専門防疫機関の科学的な検証と保証に従って解除することを決定した。

政治局会議では次に、党中央委員会第7期第5回総会の決定に従って党創立75周年を盛大に記念するための国家行事準備活動の進捗状況に関する報告を聴取し、行事別に提起される問題を点検し、すべての祝賀行事を最上の水準で特色あるものに準備して党創立75周年に立派な贈り物として出すことのできる大政治祭典になるようにするための対策を講じた。

政治局会議では続けて、党中央委員会に新設部署を設けることに関する問題を審議、決定し、その職能と役割を提示した。

政治局会議ではまた、組織問題が取り扱われた。党中央委員会政治局常務委員会の委員を選挙した。金徳訓、李炳哲の両氏を党中央委員会政治局常務委員会委員に選挙した。党中央委員会政治局

委員、委員候補を召還および補欠選挙した。朴太徳氏を党中央委員会委員、政治局委員に補欠選挙した。朴明順、金光虎の両氏を党中央委員会政治局委員候補に補欠選挙した。

党中央委員会政治局の提議によって、朝鮮民主主義人民共和国国務委員会委員長は社会主義憲法が付与した権限に従って朝鮮民主主義人民共和国内閣総理を解任および任命した。国務委員会委員長は、金徳訓氏を朝鮮民主主義人民共和国内閣総理に任命した。

会議では、党中央委員会の副委員長を選挙した。金才龍、朴太徳の両氏を党中央委員会副委員長に選挙した。党中央委員会の一部の部署の部長を解任および任命した。金才竜、朴太徳、朴明順、金光虎、キム・ヨンスの各氏を党中央委員会の部長に任命した。道党委員長を任命した。キム・ Cholサム氏を咸鏡北道党委員長に任命した。

泰川キノコ工場のリニューアル工事完成

2020年8月14日付『労働新聞』によれば、平安北道で泰川キノコ工場のリニューアル工事が完成した。

ウォル島干拓地建設場で30万立方メートルの山の発破

2020年8月14日発『朝鮮中央通信』によれば、平安北道干拓地建設総合企業所がウォル島地区で30万立方メートルの山の発破を行った。

内閣総理の解任と任命に関する国務委員会政令発表

2020年8月14日発『朝鮮中央通信』によれば、同月13日、朝鮮民主主義人民共和国国務委員会政令が発表され、金才竜氏を朝鮮民主主義人民共和国内閣総理職から解任し、金徳訓氏を朝鮮民主主義人民共和国内閣総理に任命した。

最高人民会議常任委員会が大赦を発表

2020年8月15日発『朝鮮中央通信』によれば、同年7月30日、「朝鮮労働党創立

75周年に際して、祖国と人民に対して罪を犯し、有罪判決を受けた者らに大赦を実施する」「特赦は同年9月17日から実施する」内容の政令を発表した。

被害者対策委代弁人が終戦75年を迎えて声明を発表

2020年8月15日発『朝鮮中央通信』によれば、朝鮮日本軍性奴隷・強制連行被害者問題対策委員会（被害者対策委）のスポークスマンは同日、声明を発表した。同声明は「日本当局は朝鮮人民に働いた反人倫的犯罪行為に対する国家的責任を痛切に自覚し、もっと遅れる前に心から謝罪して誠意をもって賠償すべきである」「日本当局は卑劣な歴史歪曲行為を直ちに中止し、他国の領土を欲しがりながら「大東亜共栄圏」の昔の夢を復活させようと無分別に振る舞ってはならない」を主要部分としている。

労働新聞が社説「党中央委員会第7期第16回政治局会議の決定を高く仰ぎ、洪水被害復旧に総力を集中しよう」を掲載

2020年8月16日付『労働新聞』は社説「党中央委員会第7期第16回政治局会議の決定を高く仰ぎ、洪水被害復旧に総力を集中しよう」を掲載した。同社説は、金正恩国務委員長の「国の根本である人民よりも貴重な存在はありません、人民の利益よりも神聖なものはありません」という発言を引用しつつ、「水害復旧は単に、天災による被害を克服する実務的な活動ではなく、わが党の革命的本態と朝鮮式社会主義制度の優越性を遺憾なく実証するための重要な政治的活動である」「こんにちの水害復旧活動を成功裏に遂行すれば、党に対する人民の信頼感がしっかり守られ、この地の千万の子息みんなを懐に抱いて見守るわが党の人民大衆第一主義政治の偉大さがいっそう力強く宣揚されるであろう」と水害復旧の政治的重要性を訴えている。

朝鮮労働党中央委員会第7期第6回総会を招集

2020年8月18日発『朝鮮中央通信』によれば、同月19日に朝鮮労働党中央委員

会第7期第6回総会を招集する同党中央委員会政治局常務委員会の決定書が同月17日付で発表された。

幹部による水害復旧状況の視察

2020年8月19日発『朝鮮中央通信』によれば、朴奉珠朝鮮民主主義人民共和国国務委員会副委員長が、水害を被った江原道の金化郡、鉄原郡、平康郡の複数の地域を視察した。また、金徳訓内閣総理が、黄海北道の複数の郡の水害復旧状況を現地で視察した。

朝鮮労働党中央委員会第7期第6回総会開催

2020年8月20日発『朝鮮中央通信』によれば、同月19日に朝鮮労働党中央委員会第7期第6回総会が平壤市の朝鮮労働党中央委員会本部庁舎で開催された。

金正恩朝鮮労働党委員長が総会を指導した。総会には、朝鮮労働党中央委員会の委員、委員候補と党中央検査委員会の委員が参加した。また、党中央委員会部署の活動家がオブザーバーとして出席した。党中央委員会政治局の委任によって金正恩委員長が総会を司会し、演説を行った。

金正恩委員長は演説で、今年、複数の側面で予想しなかった不可避な挑戦に直面した主・客観的環境と朝鮮半島周辺地域の情勢について分析し、歴史的な第7回党大会が行われた時からこれまでの4年間、朝鮮労働党と国家活動で収められた成果と欠陥について評価した。金正恩委員長は特に、第7回党大会が提示した国家経済発展5カ年戦略目標遂行の最後の年である今年に人民経済の各部門が達成した目標遂行の実績について資料を挙げて詳細に報告し、その結果について解釈した。金正恩委員長は演説で、党中央委員会の政治局は朝鮮革命の重大な時期に第7回党大会の決定貫徹のための活動で現れた偏向と欠陥を全面的に、立体的に、解剖学的に分析、総括し、党と政府に提起された新たな闘争段階の戦略的課題を討議、決定するために朝鮮労働党第8回大会を招集することを提議したと述べた。金正恩委員長は、党の最高指導機関である党大会を定期的に招集し

て時代と革命の発展を導く路線と戦略・戦術的対策を確定し、その執行を裏付ける党の指導機関を整備、補強すべきであると述べ、党大会の運営に関連する綱領的指針を明示した。

金正恩委員長は、第8回党大会では今年の活動状況とともに、総括期間の党中央委員会の活動を総括し、来年の活動方向を含む新しい国家経済発展5カ年計画を提示することになると述べた。金正恩委員長は、第8回党大会は闘争大会、働く大会、党活動を全面的に総括する大会になるべきだと述べ、大会で討議する案件と大会の準備活動において提起される問題について具体的に明らかにした。

金正恩委員長は、各級党組織と政権機関、武力機関をはじめとするすべての部門とすべての単位が党の基本路線と政策、決定の貫徹から脱線しないように活動状況を適時に定期的に総括しながら、良い成果は積極的に奨励し、拡大して発展させ、欠陥は速やかに克服し、是正して対策を取るようにすることによって、革命と建設、党の強化発展において新たな前進を遂げなければならないと強調した。金正恩委員長は、正面突破戦の要求に即して内部の潜在力と発展の原動力を強化するための活動と、今年に行われた複数の党政治局会議で提示された重要課題を同時に力強く推し進めて第8回党大会を高い政治的熱意と輝かしい勤労の成果で迎えることをアピールした。

金正恩委員長が第8回党大会の招集に関する朝鮮労働党中央委員会第7期第6回総会の決定書の草案を朗読した。総会では、朝鮮労働党第8回大会を2021年1月に招集することを決定した。

第8回党大会を招集する朝鮮労働党中央委員会第7期第6回大会の決定書

2020年8月20日発『朝鮮中央通信』によれば、第8回党大会を招集する朝鮮労働党中央委員会第7期第6回総会の決定書が同月19日、発表された。決定書にある大会についての記述は次の通りである。

1. 朝鮮労働党第8回大会をチュチェ110(2021)年1月に招集する。
2. 朝鮮労働党第8回大会の議案は次のとおり。

- 1) 朝鮮労働党中央委員会の活動総括
 - 2) 朝鮮労働党中央検査委員会の活動総括
 - 3) 朝鮮労働党規約の改正について
 - 4) 朝鮮労働党中央指導機関の選挙
3. 朝鮮労働党第8回大会の代表者選出比率は、党員1300人当たり決議権代表者1人、党員候補1300人当たり発言権代表者1人とする。

国内原料で乾燥酵母生産

2020年8月20日発『朝鮮中央通信』によれば、平壤小麦粉加工工場で、国産原料で乾燥酵母(イースト)を開発し、生産している。同酵母は、室温で1年以上保管することができる便利で発酵力の強い酵母であるとのことである。

海岸地帯で防疫事業

2020年8月21日発『朝鮮中央通信』によれば、海上を通じた新型コロナウイルス感染症の流入を防止するための防疫事業が海岸地域の非常防疫機関で強力に行われているとのことである。海岸に押し寄せる汚物(ゴミ)の回収、焼却、埋没処理のほか、海の出入り規制と秩序の厳格な遵守を行っているとのことである。

各地で洪水被害の復旧作業が活発に行われる

2020年8月25日付『朝鮮新報』は、各地で洪水被害の復旧作業が行われている様子を報道している。これには、農業省、林業省をはじめとする各省、回復に緊要な物資を供給する工場と朝鮮人民軍兵士が総動員されているとのことである。

祥原セメント連合企業所、順天セメント連合企業所では、回復に重要なセメント増産に着手した。また、千里馬製鋼連合企業所、黄海製鉄所では、鉄鋼材、平壤326電線の総合工場では電線、2.8ピナロン連合企業所では、塩化ビニルを回復現場にもっとたくさん送るため、生産計画をより高く設定して奮闘しているとのことである。

朴奉珠国務委員会副院長と金徳訓内閣総理がC1化学工業創設のための現場を視察

2020年8月25日発『朝鮮中央通信』に

よれば、朴奉珠朝鮮民主主義人民共和国国務委員会副院長と金徳訓内閣総理がC1化学工業創設のための重要な建設事業の現場を視察した。

朝鮮労働党中央委員会第7期第17回政治局拡大会議と第7期第5回政務局会議開催

2020年8月26日付『朝鮮中央通信』によれば、朝鮮労働党中央委員会第7期第17回政治局拡大会議と朝鮮労働党中央委員会第7期第5回政務局会議が同年8月25日、平壤市の朝鮮労働党中央委員会本部庁舎で行われた。

金正恩朝鮮労働党委員長と朝鮮労働党中央委員会の政務局メンバーをはじめとする政治局の委員、委員候補が参加した。オブザーバーとして、党中央委員会部署の責任活動家とその他の当該部門のメンバーが出席した。

金正恩朝鮮労働党委員長が同党中央委員会第7期第17回政治局拡大会議を運営、執行した。同会議では、世界的な保健危機状況に備えた国家非常防疫態勢を点検し、防疫活動をいっそう改善、強化するための当該の問題が深く討議された。同会議では、8月26日から27日の間に黄海南道と平安南道、平安北道をはじめ、北朝鮮の全般的な地域が強い台風の影響を受ける見通しに関連して、台風の被害防止に関する国家的な非常対策を徹底的に立てる問題を集中討議した。

金正恩委員長は、台風による人命被害を徹底的に防ぎ、農作物の被害を最小限に食い止めるのは人民の運命に責任を持つ朝鮮労働党にとって瞬間も疎かにすることのできない重大な問題であり、一年の農作業の締めくくりを立派にできるかできないかという重要な事業であると述べ、各級党組織と人民政権機関、社会安全機関に提起される課題を提起した。

党中央委員会の政治局拡大会議に続けて、政務局会議が行われた。政務局会議では、朝鮮労働党第8回大会を招集することに関する党中央委員会第7期第6回総会の決定を貫徹する上で提起される実務的問題を研究、協議した。また、朝鮮労働党第8回大会の成功裏の開催のための準備委員会を組織し、活動体系と分

科、小組(グループ)の活動分担を確定した。党中央委員会の政務局は、当該決定書を全会一致で採択した。

新義州市練炭工場竣工

2020年8月26日付『労働新聞』によれば、平安北道新義州市で新義州市練炭工場が新たに建設された。同工場は貯炭場から出荷に至るまでの全工程が自動化、ライン化されているとのことである。

労働新聞社説「自力自強の貴重な成果で党第8回大会を迎えよう」発表

2020年8月27日付『労働新聞』は、社説「自力自強の貴重な成果で党第8回大会を迎えよう」を発表した。同社説は、「今日の総進軍で最大の敵は、弱さと他人への依存心である」とし、自らの力を信じることの大切さを説いている。また、科学技術と集団主義の重要性を強調している。

金正恩国務委員長が、黄海南道の台風による被災地を視察し、被害状況を調査

2020年8月28日付『朝鮮中央通信』によれば、金正恩国務委員長が、黄海南道の台風による被災地を視察し、被害状況を調査した。金正恩委員長は、黄海南道党委員会の李哲萬委員長を呼び、道の被害状況に関する具体的な報告を受けた。金正恩委員長は、台風8号による被害規模が予想よりも少ない、心配が多かったがこの程度なら非常に幸いだという考えがすると述べた。また、金正恩委員長は、すべての党組織と活動家が正しい危機対応意識を持って台風による被害を徹底的に防ぐことに関する党中央の指示を受け付けた即時、先見の明ある安全対策を取ることで人命被害を減らし、各部門別被害規模を最小化することができたと述べ、自然災害に対応するための国家的な危機管理体系が整いつつあり、危機対処能力が著しく改善されていることを肯定的に評価すると述べた。

数字重視の企業戦略で生産が増加

2020年8月29日付『朝鮮新報』は、平壤市平川区域にある平川部材工場について、数字重視の企業戦略で生産が増加

したことを伝えている。同工場は1985年9月19日に創立されて以降、平壤の集合住宅建設に必要な建材を生産する工場である。

国家科学院咸興分院が創立60周年

2020年8月30日付『朝鮮中央通信』によれば、国家科学院咸興分院が創立60周年を迎えた。同分院は、化学工業を主に研究する研究所である。

党中央委員会政務局拡大会議を咸鏡道の被災地で招集

2020年9月6日付『朝鮮中央通信』によれば、同月5日、台風9号による咸鏡南道と咸鏡北道の自然災害復旧戦闘の手配のための党中央委員会政務局拡大会議を被災地の現地で招集し、指導した。党中央委員会政務局拡大会議には、党中央委員会政務局のメンバーと組織指導部、宣伝扇動部をはじめとする党中央委員会の主要部署の責任活動家が出席した。また、朝鮮人民軍の朴正天総参謀長(朝鮮人民軍次帥)をはじめとする人民軍指揮メンバーが参加した。咸鏡南道の台風による被災地に到着した金正恩国務委員長は、党中央委員会の各副委員長から現地で調査、掌握した台風による被害状況について詳細な報告を受けた。党中央委員会政務局拡大会議では、咸鏡南道と咸鏡北道の被害復旧問題が深く討議され、これらの地域に急派する建設陣編成問題と設計、資材輸送の保障問題など、具体的な対策的問題を研究、確定し、決定した。

金正恩委員長は、今回の被害復旧活動を自然災害を払拭するための単なる経済実務的な復旧建設過程だけでない重要な政治活動過程に、一心団結を強める契機に作らなければならないと述べ、全社会的に困難を経る人々を先に思い、彼らと常に苦楽を共にして打ち勝つ気高い精神的・道徳的美徳を社会主義国風に確立するためにも、首都が地方を積極的に支援するようにするのが良い、国が困難を経る時に当然、党員、特に首都の党員たちが先頭に立つのがわが社会の一心団結をいっそう強める上で大きく寄与することになるだろうと指摘して、党中央は平壤市の中核党員に首都党員師団を組織して奮い

立つことをアピールすると語った。

金正恩委員長は、首都の党員が党中央の意図を体して被災地復旧建設で先鋒の役割を果たしながら、地方の党員、労働者階級と苦楽を共にしてわが社会の一致団結した姿を余すところなく誇示するであろう、わが首都の党員たちが党創立75周年の祝日と第8回党大会を控えて聖なる聖戦で首都の党員らしく一役買うだろうとの信頼を表した。

金正恩委員長は、数年前の北部被害復旧戦闘の時のように、今回も輸送部門に総動員令を下し、輸送の手配と指揮を頑強に行って復旧用の資材を建設に支障がないように送るようすべきだと強調しながら、主な復旧建設用資材の需要を打算して保障対策をいちいち講じた。

金正恩委員長は、人民軍が祖国の守護者、人民の幸福の創造者として自分の使命と本分に忠実であるとの確信を表明し、咸鏡南道と咸鏡北道被害復旧戦闘へ呼びかける党中央軍事委員会の命令を下達した。

政務局拡大会議では、朝鮮労働党咸鏡南道委員会委員長の新成日と解任し、党中央委員会組織指導部の副部長を新たに咸鏡南道党委員長に任命した。

金正恩委員長は会議を終えて、咸鏡南道の台風による被災地を現地で視察した。党中央委員会の各副委員長と人民軍指揮メンバー、党中央委員会主要部署の責任活動家が同行した。

金正恩委員長は、海岸地帯の安全が不備で防潮堤がまともに建設されていないと指摘し、海岸地帯に居住する住民の安全地帯への移動などについても言及しつつ、高潮と台風の影響から住民地域と耕地を保護するための永久的な海岸構造物を質的に建設するには、専門単位を網羅して設計を行い、国家が年次別計画に従って建設すべきであると言及した。

金正恩国務委員長が平壤のすべての党員に公開書簡

2020年9月6日発『朝鮮中央通信』は、同月5日、金正恩国務委員長が平壤のすべての党員に公開書簡を送ったことを報道した。書簡の内容は次の通り。

首都、平壤の全党員同志に

首都、平壤の全党員同志の皆さん!

間もなく盛大に行われる朝鮮労働党創建75周年慶祝行事準備と歴史的な党第8回大会を迎えるための忙しい闘争で誰よりも苦勞をしている同志たちに挨拶の言葉を送ります。

国家の安全と人民の生命を脅かす度重なる挑戦の中で、党中央の下した重要な決定を血の沸き立つ心情で戴き、それを貫徹するために献身的に闘争している同志たちの核心的役割を以て、わが革命の首都平壤は基本的に安寧を堅持しています。

しかし、新聞と報道ですべて報道されたと思いますが、最近、次々と押し寄せた大水と台風によって国の複数の地域が同時多発的に多くの被害を受け、それを克服するための猛烈な復旧戦闘が繰り広げられています。

しかし、再び襲った台風9号によって東海岸に位置する江原道と咸鏡南道、咸鏡北道でまたもや被害を受けることになりました。

特に咸鏡南道では端川市と新浦市、洪原郡等の10あまりの市、郡で住宅と公共の建物が浸水し破壊され、多くの水災民が現地で路頭に迷っています。

全壊した住宅だけでも1000世帯を超えます。

咸鏡北道もまた、被害は異ならないといえます。

台風9号が1000キロ以上離れたところから北上するときから、緊張感を持って鋭意注視しつつ、取ることのできる予備対策を取りましたが、予想外に暴雨と強風により被害が多く発生しました。

一瞬も遅滞してはならないこの緊迫した状況で、しかも社会の多くの基本建設力量と人民軍部隊がすでに江原道と黄海南・北道の被害復旧現場に展開されている状況で、党中央は咸鏡南・北道の被害復旧を強力に支援する問題を他ならぬ首都の党員同志たちに打ち明けることにしました。

もちろん、咸鏡南・北道にも数多くの党員たちと党組織があり、労働階級の基本部隊が存在し、彼らもまた党中央の意図を知り、被害復旧闘争をしっかりと行うことであろうことを信じます。

しかし、党中央は党中央委員会を最も近くで守っている親衛隊伍である首都の核心的党員が旗を掲げ被害復旧現場に行くことにより意義があると考えました。

国のすべての地域が常に自分の心臓である首都を各方面から守ることも国風ですが、困難な時に首都の人民が困難を経験している地方の人民を誠心誠意手助けし、鼓舞、激励することも、われわれの誇らしい国風と言えます。

首都の党員は、わが党が最も信じる中核力量です。

首都の党員たちが党の呼びかけに応えて被害現場へ行って闘えば、自然がもたらした破壊的な災難による経済的損失に比べられない巨大な力を得ることになるでしょう。

今年に入って、世界的な保健危機が持続し、自然災害まで重なって特別に困難を経験していますが、われわれは党と人民の団結した力でこれらすべてのことを果敢に克服しています。

今年は決して、災害と災難の年ではなく、超緊張の厳しい闘いのなかで、より固い団結をなし遂げる闘争の年、前進の年、団結の年です。

75年の星霜を経て、勝利の高地ごとにはためいてきたわが党旗は、決して歳月の風にひるがえってきたのではなく、党中央が呼ぶのであれば水火を辞さないで山のようになり力強く立ち上がり、傑出した貢献で応えてきた我が党員たちの非常に強烈な忠誠と愛国の息吹ではためいてきたのです。

我が党と革命闘争史に特記されるもう一つの重大な勝利の転換点を作らなければならない決定的かつ責任のある時刻に首都の党員たちが旗手となり、突撃隊とならなければなりません。

党中央は、朝鮮労働党創立75周年と第8回党大会をしっかりと守るために、われわれの首都の党員同志たちが決起して災害を被った咸鏡南・北道の被害復旧戦闘に勇躍駆けつけることをお願いします。

10月10日が目前に迫っているが、状況が困難で時間が差し迫るからといって新たに被害を受けた咸鏡南・北道の数多くの人民が屋外で祝日を過ごすようにすることはできません。

党の心配と見守りの手で、首都平壤の

温かい情で、被災地の人民を手厚く慰労し、一刻も早く災難を払拭するように真心込めて支援し、闘うことを党中央は首都の党員同志たちに呼びかけます。

首都の党員同士たち！

今はわれわれ人民の不便と苦痛をなくするための被害復旧戦闘が行われる先駆がまさにわが党が全力を投じなければならない最前線です。

そのため党中央は、首都の優れた中核党員1万2000人で咸鏡南・北道にそれぞれ急派する最精鋭首都党員師団を組織することを決心しました。

平壤市党委員会と区域の党委員会、市レベル、区レベルの機関、工場、企業所の活動家たちと党員たちは誰しもこの前例のない戦闘隊伍に嘆願して党組織の推薦を受けることができます。

最精鋭の首都党員師団たちが戦域に向けて発つ前にわれらの主席と総書記がおられる聖地の広場で決起集会を開き、忠誠の誓いを立てて被害復旧現場に進出すれば主席と総書記も非常に喜ばれるでしょう。

同志たちが現場へ行って遂行すべき主な課題は被害復旧戦闘に奮い立った勤労青年と軍人の先頭に立って党政策貫徹の先鋒となり、火種になることです。

同志たちは首都の中核的党員らしく、現場への進出から撤退に至る全期間、復旧闘争と生活のすべての面であふれる気迫と秩序整然とした行動ですることによりっばな模範を見せなければなりません。

被害地域人民たちに今回被った禍を転じて福となすよう、よりよい住宅、よりよい環境で暮らすようにさせようとする党中央の真心をしっかりと知らせ、彼らが信心と樂觀を持って復旧作業を行っていくよう誠意を持って助けなければなりません。

絶対に現地住民に負担をかけたり、助けてやるというそぶりを見せたりすることなく、控えめかつ誠実に身を持ち、困難に打ち勝っていく地方の人民たちの強靱な生活気風と気質も学びながら首都で創造したよい経験と先進技術や技能を誠実に教えてあげなければなりません。

今回、派遣される首都の最精鋭党員師団が住宅と公共施設の建設を基本にすることになるだけに、専門建設部隊で服務し

て除隊した建設技能の高い党員たちで師団の直属区分隊を組織しなければなりません。

師団直属区分隊が高い建設工法と技能だけでなく、すべての作業に責任をもって手抜きなく行う教育者的な働きぶりを受け持った対象を立派に完工し、全般的復旧工事の質的水準を向上させ、地方の建設者に先進建設技能を惜しみなく譲り渡さなければなりません。

省・中央機関の党員同志たちも、被害復旧現場へ進出する戦闘員という姿勢で復旧工事に必要な資材と設備、物資を適時に迅速に送ってやることで、首都で働く党員としての本分を全うすべきです。

咸鏡南・北道の人民を助けようと首都の優秀な党員たちで組織された師団を派遣しますが、もっとも心配なのは同志たちの健康です。

生産現場と実践闘争においてよく鍛錬され、検証された党員たちであったとしても災害に襲われた厳しい場所で秋の冷たい風を受けて徹夜戦闘を行わなければならないだけに、骨が折れ、疲れるであろうと思います。

党員師団を率いる指揮官たちと政治活動家たちは、各隊員たちの健康と生活に細心の注意を払い、心を砕いて面倒を見てやり、党員同志たちが皆、健康な身体で戦闘を続け、首都平壤に、陸まじい家庭に帰ることができるようにしなければなりません。

私は党中央が直接組織して咸鏡南・北道に派遣する首都の最精鋭党員師団が朝鮮労働党創立75周年の祝日と第8回党大会をしっかり守る別働隊として、付与された栄えある使命と戦闘任務を立派に遂行し、大きな勝利を収めることを確信します。

偉大なわが人民たちのために、
偉大なわが一心団結のために、
偉大なわが国家のために、
偉大なわが10月の祭日のために、
神聖な闘争へと勇敢に進もう！
首都の党員同志たちよ、前に！

咸鏡南道台風被害現場にて

金正恩

2020年9月5日

30万人が被災地復旧に志願

2020年9月7日発『朝鮮中央通信』は、金正恩朝鮮労働党委員長が平壤市の党員に対し、台風9号で大きな被害が出た東北部の咸鏡南北道の復旧作業への参加を呼びかけた公開書簡を受け、平壤市で6日の1日だけで30余万人の党員が被災地復旧に志願したと伝えた。

両江道でホップの収穫が最盛期を迎える

2020年9月7日付『労働新聞』は、両江道でホップの収穫が盛んに行われている様子を伝えている。金正日総書記は2002年6月に新たに建設された大同江ビール工場を訪れたとき、両江道のホップ栽培を復活させ、質の良いホップを生産して大同江ビール工場に優先的に供給するように指示したとのことである。

朝鮮労働党中央軍事委員会第7期第6回拡大会議開催

2020年9月9日発『朝鮮中央通信』によれば、平壤市の朝鮮労働党中央委員会本部庁舎で朝鮮労働党中央軍事委員会第7期第6回拡大会議が開催された。金正恩朝鮮労働党委員長が拡大会議を指導した。会議には、党中央軍事委員会の委員と党中央委員会の各副委員長、党中央委員会重要部署の幹部、内閣、省、中央機関のメンバー、武力機関の指揮メンバー、水害復旧中央指揮部のメンバーが参加した。

金正恩委員長は、会議で深刻な被害を受けた検徳地区の状況を詳細に通報した。

初歩的に掌握された資料によると、検徳鉍業連合企業所と大興青年英雄鉍山、龍陽鉍山、ペクパイ鉍山で2000余世帯の家屋と数十棟の公共建物が破壊したり、浸水したりし、45カ所で6万メートルの道路が流失し、59の橋梁が破壊され、31カ所で3500余メートル区間の線路路盤と2カ所で1130余メートルのレールが流失するなど交通が完全に麻痺する非常事態に直面するようになったとし、検徳鉍業連合企業所の沈殿池のダムが破壊され、数多くの設備が流失するなど莫大な被害を受けた。

金正恩委員長は、予想外に押し寄せた台風被害によってやむを得ずわれわれは国家的に推し進めていた年末闘争課題を全面的に考慮し、闘争の方向を変更せざるを得ない状況に直面するようになったと述べた。また、検徳地区を一日も早く復旧するのは検徳地区の人民と国家財産を保護するためにも切実であり、同時にわが経済の重要命脈を生かすためにも必ず先行すべき急務であると述べ、少なくとも10月10日までは新しい住宅の体裁をつくり、道路と鉄道を復旧し、年末まではすべての被害を100%復旧することのできる国家的な非常対策を立てなければならぬと強調した。そして、党中央軍事委員会は検徳地区の被害と復旧建設規模を検討し、復旧建設をまたもや人民軍に委任することにした、人民軍だけがもう一つの戦線を展開することができるかと述べた。

朝鮮労働党中央軍事委員会は、検徳地区に派遣する人民軍部隊の力量編成と復旧建設任務、運輸機材と建設機材の保障および機動対策、セメントと燃油をはじめとする建設資材供給対策、連帯輸送対策などを規定し、検徳地区被害復旧指揮組を組織した。

平壤の党員1万2千人が8日、被災地向け出発

2020年9月9日発『朝鮮中央通信』によれば、台風9号で大きな被害が出た東北部の咸鏡南・北道の復旧作業に志願した平壤の党員1万2千人が8日、現地に向け出発した。

同日、金正恩委員長の呼びかけを受けて被害復旧作業で力を発揮するための平壤市決起大会が錦繡山太陽宮殿前の広場で行われた。大会には、党中央委員会の金才龍、李日煥、崔輝の各副委員長と平壤市党委員会の金栄欽委員長、平壤市人民委員会のチェ・ヒテ委員長、首都党員師団の指揮メンバー、1万2千人の首都党員師団メンバーと市内の機関、工場、企業の活動家が参加した。

同日、平壤の各所で市民たちが首都党員師団のメンバーらに乗せたバスの行列を、沿道の至るところで市内の多くの人々が手を振りながら鼓舞、激励のあいさつを送り、熱烈に歓送した。

習近平中国共産党総書記が金正恩朝鮮労働党委員長に祝電

2020年9月9日発『朝鮮中央通信』、『新華社』によれば、習近平中国共産党中央委員会総書記、国家主席が朝鮮民主主義人民共和国成立72周年に際して祝電を送った。祝電の内容は次の通り。

尊敬する委員長同志

私は朝鮮民主主義人民共和国建国72周年にあたり、中国共産党と中国政府、中国人民を代表して、委員長同志に、また委員長同志を通じて朝鮮労働党と朝鮮政府、朝鮮人民に熱烈な祝意を表し、その幸せを祈ります。

朝鮮民主主義人民共和国が創建されてから72年間、朝鮮労働党の指導の下で社会主義の各分野での事業はたゆみなく発展してきました。

ここ数年、委員長同志は朝鮮党と人民が新たな戦略的路線を貫徹し、経済発展に力を集中しつつ、対外交流と協力を積極的に推進するよう指導し、重要な成果を成し遂げました。

われわれは親善的な隣邦としてこれに対し心からうれしく思います。

中朝の伝統的友情は両党、両国、両国人民に共通の貴重な財産です。私は委員長同志と何回も会談を重ね、一連の重要な共通認識にいたり、両党・両国関係を新たな歴史的時期へと導きました。

新型コロナウイルス感染症が発生して以来、双方は互いに支持し合い、助け合い、中朝の友好は一層深まりました。

私は中朝関係の発展を非常に重視しており、委員長同志と共に、伝統的な中朝の友好協力関係が絶え間なく新たな成果を挙げ続ける後押しをし、両国及び両国人民により良く幸福をもたらす、地域の平和・安定・繁栄を促進していこうと思います。

委員長同志が健康ですべての事業がうまくいくことを祈ります。

朝鮮民主主義人民共和国の隆盛繁栄、人民の幸福と健康を祈ります。

プーチン大統領が金正恩国務委員長に祝電

2020年9月9日発『朝鮮中央通信』によれば、ロシアのプーチン大統領が朝鮮民

主主義人民共和国成立72周年に際して祝電を送った。祝電の内容は次の通り。

尊敬する金正恩閣下

私は朝鮮民主主義人民共和国創建72周年にあたり、あなたに心からのお祝いを申し上げます。

ロシア連邦と朝鮮民主主義人民共和国間の関係は伝統的に親善的で善隣的な性格を帯びています。

私は建設的な双方の対話と様々な分野での有益な協力がわれわれ両国の人民たちの利益に合い、朝鮮半島と北東アジア地域全般の安全と安定を守ることに貢献すると確信します。

私はあなたが健康で、成果を取めることを祝いつつ、貴国のすべての国民に幸福と繁栄があることを願います。

敬意を表します。

平安北道育苗場が新たに建設

2020年9月11日発『朝鮮中央通信』によれば、平安北道育苗場が新たに建設された。同育苗場は年間2000万余株の苗木を栽培する能力があるという。

金正恩国務委員長、黄海南道の被災地を視察

2020年9月12日発『朝鮮中央通信』によれば、金正恩国務委員長が黄海南道銀波郡大青里一帯の被害復旧建設現場を視察した。朝鮮人民軍の朴正天総参謀長と朝鮮労働党中央委員会の幹部である李日煥、趙甬元、キム・ヨンス、玄松月の各氏、朝鮮労働党黄海南道委員会のパク・チャンホ委員長が同行した。

金正恩委員長は、時代的立ち遅れと水害の痕跡をきれいに取り除き、整然と建てられて農村文化住宅のモデルらしく姿を現した被災地の農場作業班の村を満足げに眺めながら、この前、ここを訪れた時に会った農場員たちの要求通りに住宅を建設資材の所要量や敷地節約の面を考慮せず1棟1世帯に建てるように指示を与えて設計案を批准してやったが、そうして本当によかった、農場員の要求に合い、農場員がよいと言えば、多くの手間をかけて新しく建設した甲斐も大きい、などと述べた。

平壤総合病院の外部仕上げ工事が進められる

2020年9月12日発『朝鮮中央通信』は、朝鮮労働党創立75周年まで平壤総合病院の建設を無条件に終えるために、人民軍軍人と建設者が立体戦で外部仕上げ工事を速いスピードで推し進めていることを報じている。

金正恩国務委員長が黄海北道金川郡江北里を視察

2020年9月15日発『朝鮮中央通信』によれば、金正恩国務委員長が豪雨と強風による被害を復旧して新たに建設した黄海北道金川郡江北里を視察した。崔龍海、朴奉珠、金才龍、朴正天、李日煥、趙甬元、キム・ヨンス、朴泰成、玄松月の各氏が同行した。

金正恩委員長は、里に建設した住宅と公共施設を見て回りながら、きれいで瀟洒に、内外ともに遜色がなく立派に建設したと重ねて高く評価した。

金正恩委員長は、地方建設、特に農村建設の展望目標をより現実性あるものに計画的に立てなければならない、農村文明の発展を加速化して引き続きその面ぼうを一新させ、わが農村を現代的技術を持つ豊かで文化的な社会主義農村に転変させるための責任的かつ重要な事業に国家的な支援を大幅に増強すべきだと強調した。そして、金日成主席と金正日総書記が構想していた遠大な社会主義農村建設綱領を一日も早く完遂するためのわが党の現時期の当面課題と展望目標に対するより真摯な研究と対策が急を要する、党大会がこの重大な問題に正確な解答を与えるだろうと述べた。

金徳訓内閣総理が、東部地区の被害復旧状況を視察

2020年9月15日発『朝鮮中央通信』によれば、金徳訓内閣総理が、東部地区の被害復旧状況を視察した。咸鏡南道と咸鏡北道の各被害復旧現場で金徳訓総理は、最高指導者金正恩委員長が被災地の人民の生活についてひと時も安心できずにいるということすべての活動家が常に銘記し、党中央の意図を実践で支える上で指揮メンバーとしての責任と役割を果たしていくべきだと強調した。総理は江原

道の通川郡と文川市、昌道郡、金剛郡も視察した。

金正恩朝鮮労働党委員長が習近平中国共産党中央委員会総書記に答電

2020年9月16日発『朝鮮中央通信』によれば、金正恩朝鮮労働党委員長が同月14日、習近平中国共産党中央委員会総書記、中華人民共和国国家主席に答電を送った。電文は次の通り。

北京

中国共産党中央委員会総書記
中華人民共和国主席
習近平同志

尊敬する総書記同志、

私は総書記同志が朝鮮民主主義人民共和国創建72周年にあたり熱烈な祝賀と素晴らしい願いを送ってくれたことに対し、朝鮮労働党と共和国政府、全朝鮮人民そして私自身の名前で心からの謝意を表します。

総書記同志と中国党と政府、人民の変わりない支持声援は党創建75周年と党第8回大会を成果的に迎えるために力強い闘争を繰り広げているわが党と政府、人民において大きな力と励ましになります。

私は中国人民が総書記同志を核心とする中国共産党の指導の下で、新型コロナウイルス感染症との闘争において重大な戦略的成果を取めたことに対してうれしく思いつつ、今後新時代の中国の特色ある社会主義より力強く推進し、中華民族の偉大な復興を実現すると確信します。

私は総書記同志と堅く手をつなぎ、社会主義を守り、輝かせるための共同の闘争において、両党、両国人民の貴重な財産であり、戦略的選択である朝中親善をより新たな高い段階に強化発展させるためにすべての努力を尽くすでしょう。

尊敬する総書記同志が健康で幸福であることを心から願います。

朝鮮労働党委員長
朝鮮民主主義人民共和国
国務委員会委員長
金正恩

主体109(2020)年9月14日
平壤

朴奉珠国務委員会副委員長が完工した平安南道の安石干拓地を視察

2020年9月16日、17日発『朝鮮中央通信』、同月17日付『朝鮮新報』によれば、朴奉珠国務委員会副委員長が同月15日、完工した平安南道の安石干拓地を視察した。同干拓地は、平安南道温泉郡安石里から石峙里までの朝鮮西海の外海に数十里(1里=400メートル)におよぶ堤防を築く膨大な大自然改造プロジェクトであり、堤防の建設には、120余万立法メートルの盛土と30余万平方メートルの張石工事を要したとのことである。安石干拓地の建設は安石干拓地建設総合企業所の労働者たちが担い、2017年5月に始まった。2019年3月に第1次せき止め工事が完了、干拓地完成の展望が開かれた。安石干拓地建設総合企業所の労働者たちはわずか3年で干拓地を完成させる成果を上げたとのことである。

玉流館が創立60周年を迎える

2020年9月16日発『朝鮮中央通信』によれば、平壤市中区域にある冷麺で有名な玉流館が創立60周年を迎えた。朝鮮労働党中央委員会は、創立60周年を迎える玉流館の従業員と活動家に祝賀文を送った。

労働新聞が社説「奇跡創造の炎を激しく燃え上がらせ、党創立75周年と党第8回大会を防衛しよう」を掲載

2020年9月19日付『労働新聞』は、社説「奇跡創造の炎を激しく燃え上がらせ、党創立75周年と党第8回大会を防衛しよう」を掲載した。社説は自然災害により被害を受けた地域を一日も早く回復することは、当地の人民と国家財産を保護するためにも切実で、同時に国の経済を活性化するためにも、必ず先行しなければならない事業であると指摘している。

朴奉珠国務委員会副委員長が順川セメント工場や南興青年科学連合企業所を視察

2020年9月27日発『朝鮮中央通信』に

よれば、朴奉珠国務委員会副委員長が、平安南道順天市の順川セメント連合企業所の焼成炉の補修と生産状況を調べた。それに先立ち、同道安州市の南興青年化学連合企業所の生産および設備管理状況を調べ、C1化学工業創設のための対象工事を推し進めるための関係者協議会を指導した。また、黄海北道銀波郡大青里の住宅建設の現場も視察した。

朝鮮中央通信「南朝鮮当局に警告する」との報道文を発表

2020年9月27日発『朝鮮中央通信』は「南朝鮮当局に警告する」との報道文を発表した。報道文の内容は次の通り。

去る25日、われわれは現北南関係の局面においてあってはならない忌まわしい事件が発生したことで、南側に発生した事件の顛末を調査、通報した。

そして、最高指導部の意を体して北南間の信頼と尊重の関係がいかなる場合にも絶対に毀損されることが追加発生しないように必要な安全対策を補強した。

われわれは、西南海上と西部海岸の全域で搜索を手配し、潮流に乗って入りうる死体を拾得する場合、慣例通りに南側に手渡す手順と方法までも考えている。

しかし、わが海軍の西海艦隊の通報によると、南側では去る9月25日からおびただしい艦艇、その他の船舶を搜索作戦と推定される行動に動員させながらわが方の水域を侵犯させており、このような南側の行動はわれわれの当然な警戒心を誘発させ、また他の忌まわしい事件を予告させる。

われわれは、南側が自分の領海でいかなる搜索作戦を行っても意に介さない。

しかし、わが方の領海への侵犯は絶対に看過することができず、これに対して厳重に警告する。

われわれは、南側が新しい緊張を誘発させかねない西海海上軍事境界線の無断侵犯行為を直ちに中断することを求める。

主体109(2020)年9月27日
平壤

両江道養老院を新たに建設

2020年9月27日発『朝鮮中央通信』によれば、両江道養老院が恵山市近郊の三水湖のほとりに新たに建設された。

金徳訓内閣総理が黄海南道の農業部門の活動を視察

2020年9月28日発『朝鮮中央通信』によれば、金徳訓内閣総理が、安岳郡五局協同農場と信川郡セギル協同農場、載寧郡三支江協同農場と江橋協同農場をはじめとする黄海南道の農業部門の活動を視察した。また、開城市徳岩洞と板門区域臨漢里所在地の住宅建設場も視察した。

沙里院地質大学が創立50周年

2020年9月28日発『朝鮮中央通信』によれば、黄海北道にある沙里院地質大学が創立50周年を迎えた。同大学は、地質探査部門の技術人材養成を主任務とする大学である。朝鮮労働党中央委員会が創立50周年を迎える沙里院地質大学の教職員、学生に送る祝賀文伝達の集いが、同月27日に行われた。

朝鮮労働党中央委員会第7期第18回政治局会議開催

2020年9月30日発『朝鮮中央通信』によれば、同月29日、平壤市の朝鮮労働党中央委員会本部庁舎で、朝鮮労働党中央委員会第7期第18回政治局会議が開催された。金正恩朝鮮労働党委員長が会議に参加した。

会議には、朝鮮労働党中央委員会政治局常務委員会委員と党中央委員会政治局委員、委員候補が参加した。また、党中央委員会の各部長と国家防疫部門のメンバーをはじめ、当該の人々がオブザーバーとして出席した。

党中央委員会政治局の委任によって、朝鮮労働党の金正恩委員長が会議を司会した。

政治局会議では、悪性ウイルスの拡大脅威を防ぐための活動で現れている一連の欠点を指摘し、国家的な非常防疫活動をより強力に施行することに関する当該の問題が深く研究、討議された。

会議では、世界的な悪性伝染病の拡大形勢に関する報告に続いて、防疫部門

での自己満足と放心、無責任さと緩慢さを徹底的に警戒し、われわれの方式、われわれの知恵で防疫対策をより徹底的に講じ、大衆的な防疫雰囲気、全人民的な自発的一致性をより高調させて、鉄のような防疫システムと秩序を確固と堅持することについて強調された。

党中央委員会政治局は、朝鮮労働党創立75周年に際して行った党および国家的活動と災害復旧状況について点検し、これらの活動の成功裏の保障のための当該の組織的対策を提起して討議、決定した。

会議では、また、組織問題が取り扱われた。

金正恩朝鮮労働党委員長が習近平中国共産党総書記に祝電

2020年10月1日発『朝鮮中央通信』によれば、中華人民共和国創建71周年に際し、金正恩朝鮮労働党委員長は同日、習近平中国共産党中央委員会総書記に祝電を送った。内容は次の通り。

北京

中国共産党中央委員会総書記
中華人民共和国主席
習近平同志

尊敬する総書記同志、

私は、中華人民共和国創建71周年に際して朝鮮労働党と朝鮮民主主義人民共和国政府、朝鮮人民の名で総書記同志と、そして総書記同志を通じて中国共産党と中華人民共和国政府、兄弟の中国人民に熱烈な祝賀と温かいあいさつを送ります。

新しい中国の誕生以降の71年間、中国人民は中国共産党の賢明な指導の下で社会主義建設で注目し値する成果を収めました。

こんにち、総書記同志は中国の党と政府、人民を指導して峻厳な内外の挑戦を打ち破って初歩的に富裕な社会を全面的に建設し、貧窮を完全に一掃するための闘いで決定的前進を遂げ、国の主権と領土保全を頼もしく守り抜いています。

敵対勢力の日ごとに増大する非難と圧

迫騒動も、総書記同志と中国共産党に対する中国人民の信頼を崩すことも、社会主義中国が収めた成果を否定することもできず、自らが選択した道に沿って前進する中国人民を阻むことはできません。

中国人民が総書記同志を中核とする中国共産党の周りに固く結集して社会主義現代化強国建設の遠大な目標を必ず実現すると確信します。

血をもって獲得した社会主義を守り抜き、輝かす共同偉業を実現するための道で、私とわが党と人民は変わることなく総書記同志と中国共産党、そして中国人民と共にいるでしょう。

私は、総書記同志と共に新しい歴史的時期に入った不敗の朝中親善を絶えず強固にし、発展させるために積極的に努力するでしょう。

総書記同志が健康で、活動でより大きな成果を収めることを心から願います。

中華人民共和国の富強繁栄と中国人民の幸福と安泰を心から祈願します。

朝鮮労働党委員長
朝鮮民主主義人民共和国
國務委員会委員長
金正恩

主体109(2020)年10月1日
平壤

労働新聞が社説「非常防疫活動をより力強く展開しよう」を掲載

2020年10月1日付『労働新聞』は、社説「非常防疫活動をより力強く展開しよう」を掲載した。社説は「悪性ウイルス伝染病との闘いは、初めも重要であるが最後まで強力で展開するのがいっそう重要である。非常防疫戦は祖国防衛戦、人民防衛戦であり、この闘いでは0.001%の盲点も絶対に許せない。」としている。

黄海北道麟山郡で地方発電所が竣工

2020年10月1日付『労働新聞』は、黄海北道麟山郡で道が建設した地方発電所である麟山龍石発電所が完成したことを報じている。

金正恩國務委員長が建設中の江原道金化郡災害復旧現場を視察

2020年10月2日発『朝鮮中央通信』によれば、金正恩國務委員長が建設中の江原道金化郡災害復旧現場を視察した。朴正天、李日煥、キム・ヨンス、趙甬元、金与正、朴泰成、玄松月の各氏が同行した。

金正恩委員長は、金川郡江北里(黄海北道)の災害復旧に続いてまたもや大変革をもたらした人民軍軍人たちの愛国的行為と革命的闘争気質に実に大きな感動を受けるようになると述べ、人民軍がもたらしたこのような結実単なる物質的な創造物である前に、朝鮮労働党が最も大事に押し立てる精神的富であると誇り高く述べた。また、災害復旧地域に新しく建設した住宅を見ながら、一つ惜しいのは住宅の設計を一定の基準を定めて一律的に行ったことである、地域の優れた文化と地帯的特性、人民の便宜と要求を保障できるようにする原則に立って独創性が付与され、周辺環境との芸術的調和性、多様性が適切に結合されるようにしたならもっとよかったことであろうとも述べ、設計部門で必ず警戒され、克服すべき偏向の問題と朝鮮労働党の建設政策の重要思想について具体的な教えを与えた。

朴奉珠國務委員会副委員長が清川江一平南灌漑水路工事現場を視察

2020年10月2日発『朝鮮中央通信』によれば、朴奉珠國務委員会副委員長が平安南道の清川江一平南灌漑水路工事現場を視察した。

高山果樹総合農場に果物加工工場が建設

2020年10月2日発『朝鮮中央通信』によれば、江原道高山郡の高山果樹総合農場に果物加工工場が立派に建設された。同年9月30日に竣工式が行われ、朝鮮労働党中央委員会の李日煥副委員長と関係部門、高山果樹総合農場高山果物加工工場の活動家、従業員がこれに参加した。

金正恩國務委員長がトランプ米大統領に慰問電を送る

2020年10月3日発『朝鮮中央通信』に

よれば、金正恩國務委員長が同日、米国のトランプ大統領に慰問電文を送った。電文は次の通り。

ワシントン
アメリカ合衆国大統領
ドナルド J. トランプ閣下

私は、あなたと令夫人がコロナウイルスの検査で陽性判定を受けたという意外の報に接しました。

私は、あなたとあなたの家族に見舞いの意を表します。

私は、あなたと令夫人が一日も早く全快することを心から願います。

あなたは必ず、耐え抜きましょう。

あなたと令夫人に温かいあいさつを送ります。

朝鮮民主主義人民共和国
國務委員長委員長
金正恩
主体109(2020)年10月3日
平壤

玉流館で冷麺コンテスト

2020年10月3日発『朝鮮中央通信』によれば、同月2日、平壤市の玉流館で玉流館、清流館、平壤麵屋間の冷麺コンテストが行われた。

コンテストは、各単位の経験のある調理師たちが現場で調理した平壤冷麺、肉チェンバングクスとユクス(肉の出汁)の味を評価する方法で行われた。

朝鮮料理協会中央委員会、張哲九平壤商業大学の活動家、研究者で構成された専門家と人民奉仕指導局、平壤市人民委員会の公共サービス単位で選抜されたメンバーがコンテストの審査をした。

妙香山医療機器工場のリニューアル工事が竣工

2020年10月5日発『朝鮮中央通信』によれば、平安北道の妙香山医療機器工場のリニューアル工事が竣工し、同月4日、竣工式が行われた。朝鮮労働党中央委員会の崔相建部長、オ・チュンボク保健相、工場の建設に寄与した活動家、功労者、香山郡内の人々、工場の活動家、従

業員がこれに参加した。竣工の辞を慈江道党委員会の姜峯訓委員長が述べた。

興州青年第4号発電所が完成

2020年10月5日発『朝鮮中央通信』によれば、慈江道で興州青年第4号発電所が完成し、同月4日竣工式が行われた。

朝鮮労働党中央委員会第7期第19回政治局会議開催

2020年10月6日発『朝鮮中央通信』によれば、同月5日、平壤市の朝鮮労働党中央委員会本部庁舎で朝鮮労働党中央委員会第7期第19回政治局会議が開催された。金正恩朝鮮労働党委員長が参加した。政治局会議には、朝鮮労働党中央委員会政治局常務委員会委員と党中央委員会政治局委員、委員候補が出席した。また、党中央委員会の当該部署の部長と第1副部長らがオブザーバーとして参加した。党中央委員会政治局の委任によって、金正恩党委員長が会議を司会した。

政治局会議では第1の議案として、全党、全国、全民が80日戦闘を力強く繰り広

げて第8回党大会を輝かしく迎えることに関する問題を討議した。朝鮮労働党中央委員会政治局は、全党、全国、全民を80日戦闘へ総決起させるために戦闘的スローガンを制定し、全党の党組織と党員に党中央委員会の書簡を送ることを決定した。

政治局会議では第2の議案として、朝鮮労働党創立75周年に際して党と軍隊の主要幹部に軍事称号を授与する決定を採択した。朝鮮労働党中央委員会、朝鮮労働党中央軍事委員会、朝鮮民主主義人民共和国国務委員会の共同決定によって、朝鮮労働党中央軍事委員会副委員長である朝鮮労働党中央委員会の李炳哲副委員長と朝鮮人民軍の朴正天総参謀長に朝鮮人民軍元帥称号が授与された。

朴奉珠国務委員会副委員長が、咸鏡北道の災害復旧状況を視察

2020年10月7日発『朝鮮中央通信』によれば、朴奉珠国務委員会副委員長が、清津市と金策市、漁郎郡をはじめとする咸鏡北道の災害復旧状況を視察した。また、

朴奉珠副委員長は金策製鉄連合企業所と清津製鋼所の生産実態を具体的に調べた。

金徳訓内閣総理が咸鏡南・北道の災害復旧状況を視察

2020年10月8日発『朝鮮中央通信』によれば、金徳訓内閣総理が、咸鏡南道の洪原郡、北青郡、新浦市、咸鏡北道の清津市と明潤郡などを視察した。また、金策製鉄連合企業所と明潤化学工場、清津港を視察した。

平壤香料工場が竣工

2020年10月8日発『朝鮮中央通信』によれば、平壤香料工場建設工事が竣工し、同日朝鮮労働党中央委員会の朴明順部長、李周午内閣副総理、リ・ソンハク軽工業相、関係部門の活動家が同工場を見学した。

ERINA 調査研究部主任研究員
三村光弘